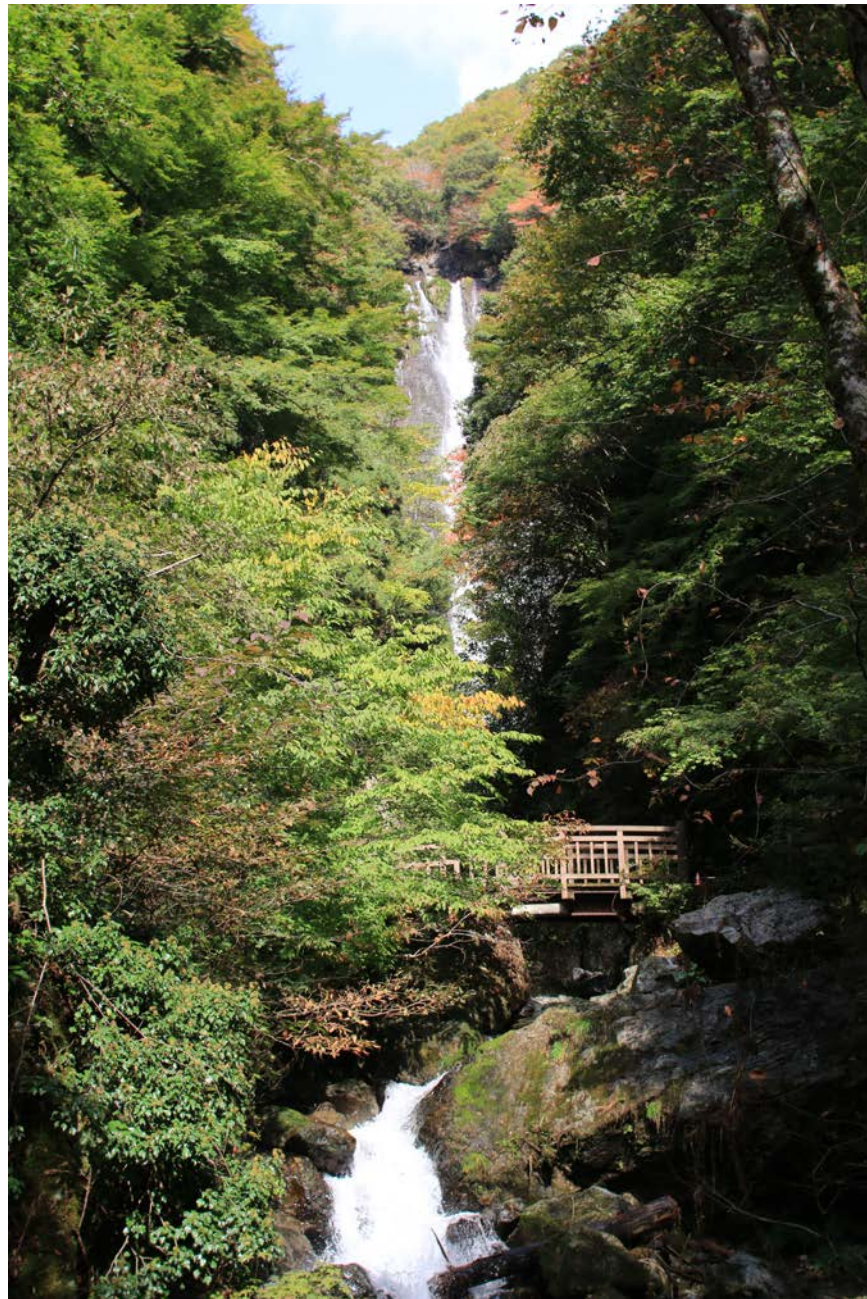


## 7 神庭の滝 (真庭市神庭)

写真



解説

真庭市神庭付近には古生代ペルム紀の付加体の地層群があり真庭層群と呼ばれている。神庭の滝は真庭層群を構成する酸性凝灰岩を流れ落ち、滝つぼから下流には粘板岩、石灰岩が帯状に分布している。酸性凝灰岩はチャート並みに堅硬であるが、粘板岩や石灰岩は流水により浸食されやすいため、地質の違いによる硬さのコントラストがこの壮大な滝を形成した。滝の高さは約 110m あり、国の名勝や日本の滝 100 選にも指定されている。